

滋賀国道事務所	発表日時	平成18年11月6日 14:00
資料配布		

件名	平成18年度 国土交通省社会実験 『南草津地区くらしのみちゾーン施策の有効性検証実験』 を実施します。
----	---

概要	<p>南草津（草津市野路地区）の生活道路は、国道1号や京滋バイパスが近接し、渋滞を避けて流入する通過交通が多い。加えて駅からの通学・通勤者や中高生及び大学生の通学やバイクの通行も多く、十分な歩道空間が確保できない中で、歩行者や自転車、自動車が輻輳し、生活者や学童の通学についても危険な状態が発生していることから、玉川地区交通・安全対策協議会は、『安心して通れる、ユーザー（地域住民、学生、従業者）が楽しんで使える、そして、地域の良さを発見でき、活性化への第一歩となるみちづくり』を目指した社会実験を実施するものである。</p> <p>実施場所：滋賀県草津市野路町地先内 実施期間：平成18年11月11日（土）～15日（水） 実施内容：</p> <p>通過交通の排除施策および速度抑制施策</p> <p>（1）一方通行規制の時間帯延長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現行の7:00～9:00の2時間を延長し7:00～20:00の13時間とする。 ・ 一方通行規制は、二輪、自転車を除く。 <p>（2）速度抑制等の安全施策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イメージランプ 2箇所、フォルト 1箇所 <p>地域資源を活かしたイベントの実施</p> <p>実験初日の平成18年11月11日（土）に玉川小学校で開催される萩の玉川祭りにあわせて、野路地区内の寺社など（8箇所）をめぐるスタンプラリーを実施。</p>
----	--

取り扱い	テレビ・ラジオ：_____
	新聞：_____

配布場所	滋賀県政記者クラブ
------	-----------

問い合わせ先	玉川地区交通・安全対策協議会 会長 木村 武生 （事務局：立命館大学 BKCキャンパス事務課 川口 尚） TEL 077-561-2617（直通）
	近畿地方整備局 滋賀国道事務所 副所長 伊勢 達男 調査第二課長 藤本 竹志 TEL 077-523-1741（代表）
	草津市 産業建設部 道路課 課長 鈴川 昭二 TEL 077-563-1234（代表）
	草津警察署 交通課 規制係 主任 水野 史夫 TEL 077-563-0110（代表）

南草津地区くらしのみちゾーン施策の有効性検証実験

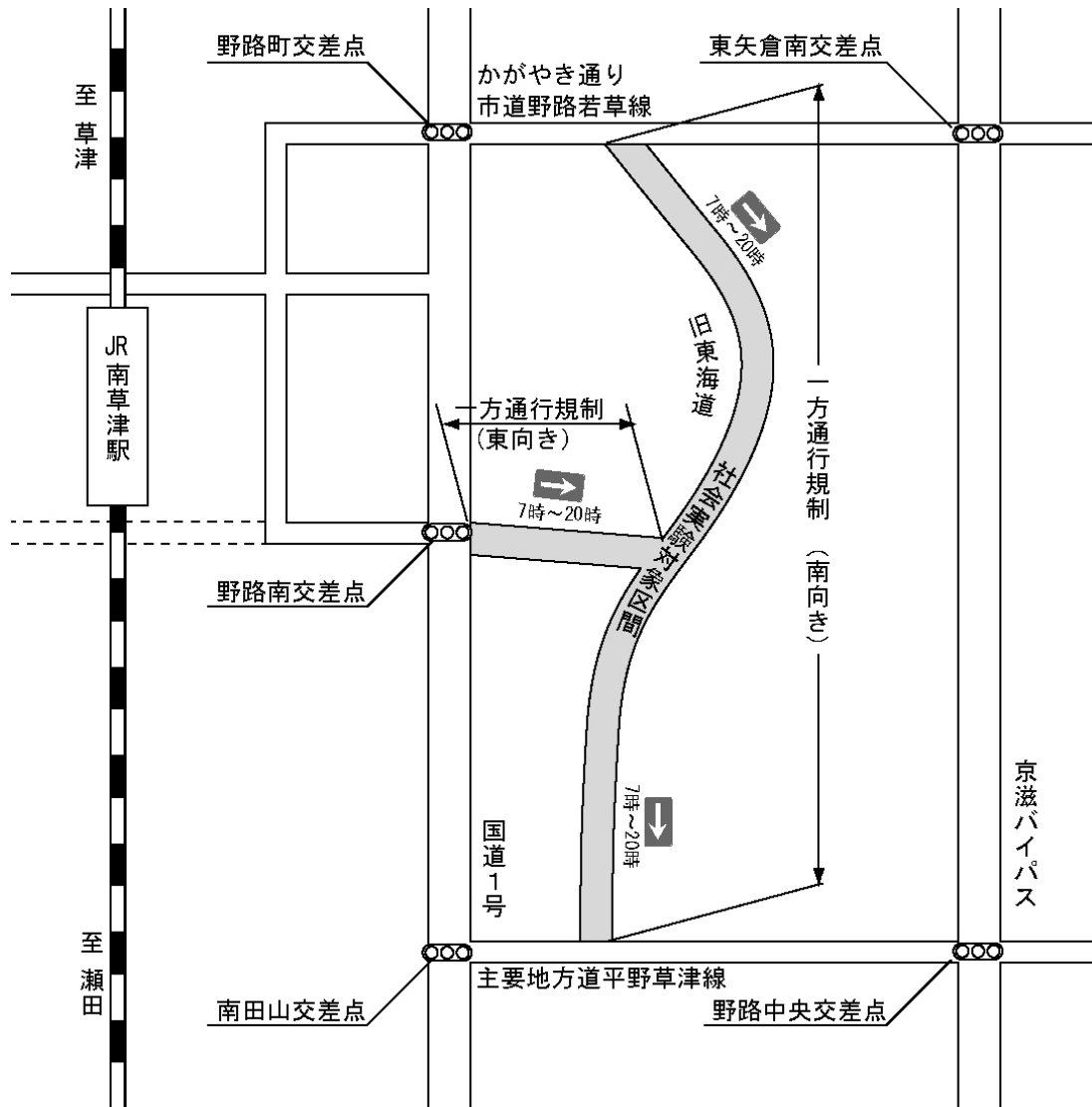
実施目的

南草津地区の生活道路は、旧東海道に代表される古くからのまちなみ、みちなみの面影を残す一方で、既成市街地内を狭小な幅員の道路が巡っている。その一方で、国道1号や京滋バイパス等の幹線道路が近接し、渋滞を避けて流入する通過交通が多数みられるばかりでなく、通学・通勤者も多く、混乱、一部転轍を招いている。また、十分な歩道幅員を確保できず、生活者の通行、子ども達の通学についても危険な状態である。

こうした状況を踏まえ、玉川地区交通・安全対策協議会は、大規模施設（大学、企業）が立地し、古くからの既成市街地を有する、郊外の駅周辺の交通問題の改善～安心して通れる、ユーザー（地域住民、学生、従業者）が楽しんで使える、そして、地域の良さを発見でき、活性化への第一歩となるみちづくり～を目指した社会実験を行うものである。

実施場所

滋賀県草津市野路町地先内



実験実施区間での規制図

実施期間

平成18年11月11日(土)～15日(水)

実施内容

通過交通の排除施策および速度抑制施策

①一方通行規制の時間帯延長

- ・ 現行の7:00～9:00の2時間を延長し7:00～20:00の13時間とする
- ・ 一方通行規制は二輪、自転車を除く




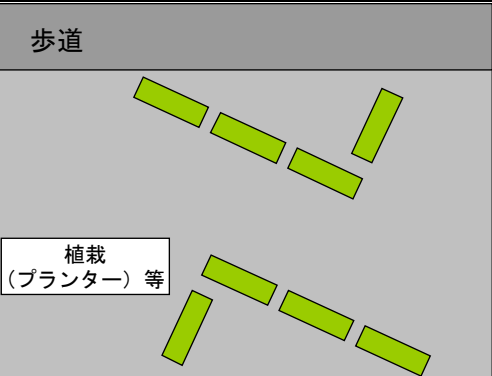
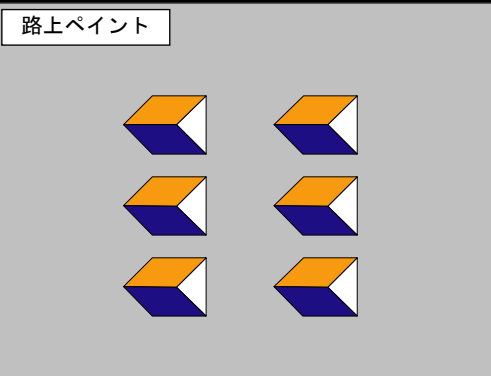
②速度抑制等の安全施策の実施(フォルト、イメージハンプ設置)

- ・ フォルト1ヶ所、イメージハンプ2ヶ所

実施期間中の規制及び速度抑制機器等設置箇所

内容	区間・箇所	時間帯	備考
一方通行規制	野路地区内旧東海道(南向き) 野路南交差点～旧東海道間(東向き)	13時間 (7:00～20:00)	
フォルト設置	野路地区内旧東海道 県道平野草津線側、子守地蔵付近(写真-1)	24時間	※1
イメージハンプ設置	野路地区内旧東海道 かがやき通り側、北川にかかる保育園前の橋(写真-2) 野路南交差点～旧東海道間 野路南交差点寄り、区事務所前(写真-3)	24時間	※2 路面ペイント

③フォルト・イメージハンプ設置計画箇所

		
写真-1 子守地蔵付近 (フォルト)	写真-2 保育園前の橋 (イメージハンプ)	写真-3 区事務所前 (イメージハンプ)
<p>歩道</p>  <p>植栽 (プランター)等</p>	<p>路上ペイント</p> 	
※1 フォルトとは 車の速度を抑制するために、道路の端に 植栽(プランター)や障害物を設置し、 車道部分を屈曲させたもの	※2 イメージハンプとは 速度低減を目的として、視覚的に凹凸を表現した路上ペイント	



規制方向及び速度抑制機器等設置位置図

地域資源を活かしたイベントの実施

実験初日の平成18年11月11日(土)に玉川小学校で開催される萩の玉川祭りにあわせて、野路地区内の寺社など(8箇所)をめぐるスタンプラリーを実施。

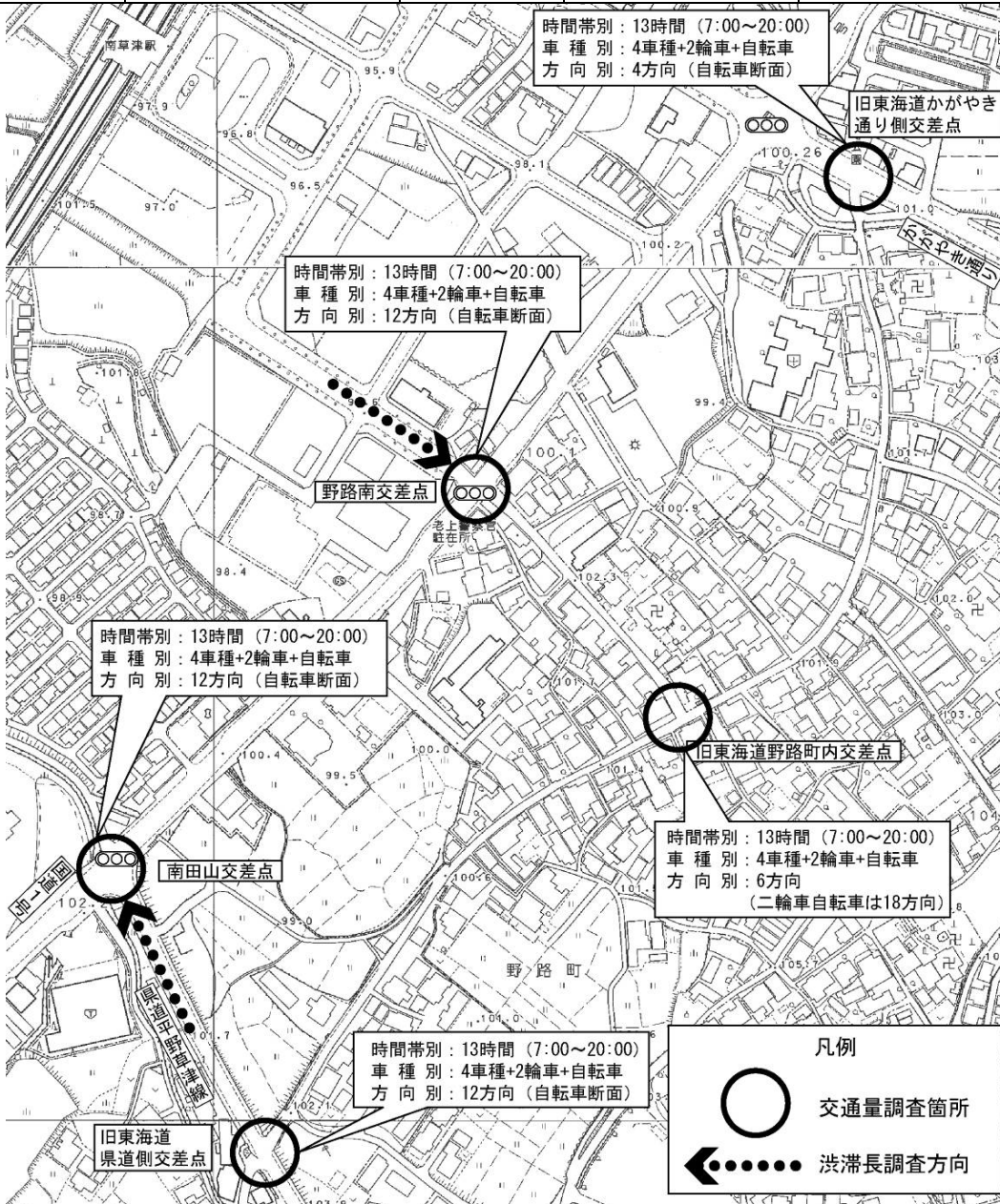
実験効果検証

④自動車流動状況の変化把握

社会実験による効果を検証するため、社会実験の期間中及び事後に下記内容の交通量調査及び渋滞長調査を行う。

交通量調査実施内容

調査項目	調査日時	調査箇所	内容	備考
交通量調査	期間中 平成18年11月14日(火) 7:00~20:00 事後 平成18年11月21日(火) 7:00~20:00	5交差点	・4車種分類+2輪車+自転車 ・時間帯別 ・方向別	野路地区内の交差点以外の自転車交通量は、断面交通量とする かがやき通り交差点は4方向(かがやき通り直進方向は計測しない)
渋滞長調査	期間中 平成18年11月14日(火) 7:00~20:00 事後 平成18年11月21日(火) 7:00~20:00	2交差点 (各1方向: 全2方向)	30分毎に計測	



交通量調査位置及び内容（方向は通常時を示す）

⑤アンケート調査

社会実験による効果を検証するため、イベント参加者を含め、周辺住民などを対象にアンケート調査を行う。

アンケート調査対象

対象	配布日	配布回収方式
イベント参加者	11/11（土）	スタンプラリーゴール時に配布回収
沿道・地区住民	実験終了後	自治会を通じて配布回収
自動車利用者 （松下従業員）	実験終了後	松下を通じて配布回収
通学時利用者 （立命館大学生）	実験終了後	立命館大学を通じて配布回収